

# 教育委員会会議録

( 臨時会 )

平成28年10月25日開催

さいたま市教育委員会

1 期 日 平成28年10月25日(火)  
2 場 所 教育委員会室  
3 開 会 午前10時00分  
4 出 席 委 員 委 員 長 大 谷 幸 男  
委 員 平 澤 奈 古  
委 員 野 上 武 利  
委 員 武 田 ちあき  
教 育 長 稲 葉 康 久

※野上委員は11時45分退席

5 議場に出席した者  
副教育長 村 瀬 修 一  
学校教育部長 五十嵐 圭 一  
学校教育部参事兼高校教育課長 槇 拓 治  
教育総務課長 西 林 正 文  
さいたま市立浦和高等学校長 大 竹 実  
さいたま市立浦和南高等学校長 杉 林 正 敏  
さいたま市立大宮北高等学校長 細 田 眞由美  
さいたま市立大宮西高等学校長 関 田 晃

6 会議録署名委員 平 澤 奈 古

## 7 議事等の概要

大谷委員長 　ただ今から教育委員会会議を開会いたします。本日は傍聴を希望する方はいらっしゃいますか。

書記 　いらっしゃいません。

大谷委員長 　本日の会議録の署名委員は、平澤委員にお願いいたします。

### 議案第58号 平成29年度使用さいたま市立各高等学校教科書の採択について

大谷委員長 　それでは、議案第58号につきまして、事務局から説明をお願いします。

高校教育課長 　まず、提案理由でございます。市立各高等学校におきましては5月から7月までの期間、校長を委員長とする教科書選定委員会において、学校の特色や生徒の実態に即しながら、綿密な調査、研究を実施し、平成29年度に使用を希望する教科書を選定しました。

高等学校で使用する教科書につきましては、高等学校用教科書目録に登載されているものの中から採択することとなっております。また、小学校用及び中学校用の教科書の採択の流れとは異なり、採択地区及び採択期間の定めがございません。採択権者である教育委員会が、年度ごと、高等学校ごとに教科書を採択することとなっております。

次に、お手元の資料について御説明いたします。

まず資料1「教科書採択のための資料」を御覧ください。採択していただくための調査資料を、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮西高校の順に綴じてございます。学校ごとに、始めに選定方針を示しました。続いて教科書一覧表、次にそれぞれの教科書の選定理由書、最後に教科書選定概要報告書を示してございます。

高等学校におきましては、現行の学習指導要領が実施されてから今年度で4年目となります。平成29年度につきましては、教科書を継続して使用する場合最長の年数は5年となります。また、学習指導要領を先行実施していましたが、数学、理科に関しましては、継続の最長年数は6年でございます。なお、前年度と同じ教科書を継続して使用する場合は、選定理由書にその継続年数を示してございます。

続きまして、資料2の「教科書採択に係る根拠法令・仕組み・スケジュール等」についてでございます。1ページに教科書採択に係る根拠法令、2ページにさいたま市の教科書採択の仕組み、3ページに高

校の教科書採択スケジュール、4ページ以降は教育委員会からの通知等をまとめました。

この後、4校の校長から説明をいただきます。説明の順番については、浦和高校、浦和南高校、大宮北高校、大宮西高校の順でよろしいでしょうか。

大谷委員長

はい、結構です。それではその順番で御説明お願いします。

浦和高等学校長

お手元の資料の1ページから16ページまでが本校の資料です。本校の教科書選定の経緯につきまして、御説明申し上げます。資料2ページの選定方針の3にありますように、本校生徒の学力や興味・関心等の実態に対応し、かつ、基礎・基本の確実な定着や個々の能力に応じた伸長を図れる教科書であるということを視点を、新規教科書を11冊、継続で34冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を資料の16ページのように開催し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。しかしながら、選定の経過にあります。昨日の教育委員会会議におきまして、教科書採択に係る資料について御指摘を受けまして、昨日選定委員会を再度開催し、本日の朝、職員会議を経て、改めて校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

本校は中高一貫教育校であり、高校の各学年の学級編制は、浦和中学校からの内部進学生が2クラス、高校からの高入生が6クラスの計8クラスからなっています。内進生と高入生は、入学後の3年間、別々のクラスで学習し、同じクラスになることはありません。また、内進生は、中学校で「つなぎ学習」という形で、一部、高校の教員による授業を受けてきています。このような状況を踏まえて、具体的な説明をさせていただきます。

まずは、物理基礎ですが、内進生と高入生で異なる教科書を選定しております。内進生は「物理基礎318」を選定しましたが、この教科書は、かなり発展的な内容が豊富に載せられています。内進生は、中学校で物理の学習をしてきますので、発展的内容を必要に応じて選択しながら学習を進めています。また、内進生は、2年生でも物理基礎を履修することになってはいますが、この「物理基礎318」の巻末には上位の教科である物理の内容が載っています。3年次に履修する物理を2年次の早いうちから学習するという意図も込められています。高入生につきましては、はじめて物理を学習することから、基礎的な内容がしっかりと押さえられている「物理基礎319」を選定しました。また、化学基礎につきましては、内進生は1年次の必修科目、高

入生は2年次の、理系での必修科目、文系では選択科目としているため、発展的内容の多い「化学基礎321」と、大判でセンター試験レベルに対応できる「化学基礎314」の2種類を選定しています。

他の科目におきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただきました。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

それでは、次に浦和南高等学校長から説明をお願いします。

浦和南高等学校  
長

お手元の資料の17ページから33ページまでが本校の資料です。本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

選定方針でございますように、確かな学力の定着や大学進学のための実力練成のために記述や資料等が生徒に理解しやすいものであるとともに、導入や題材、論の工夫がなされ、効果的な内容となっていることを重視し、新規教科書を20冊、継続で26冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を32、33ページのように開催し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

以下、具体的に申し上げます。

今年度新規に選定した教科書のうち、同じ教科書会社の改訂版や新訂版の教科書も新規扱いとなりますので、これらを除いた教科書7冊のうち、数学Iとコミュニケーション英語Iを例にとって御説明させていただきます。

まず、数学Iは、東京書籍の「数学I Standard」を新規に選定いたしました。これまでは、同じ東京書籍の「新編数学I」を使用していましたが、この度新刊でStandardシリーズが出た関係で、こちらを選定し、併せて数学Aも「数学A Standard」にいたしました。理由は、これまでの新編と比べて、レベルが基本、標準、応用、入試と幅広く取り扱われていて、数学が苦手な生徒から得意な生徒まで幅広く存在する本校生徒の実態に合った教科書であると考えたからです。

例えば、数学Iの2次関数のところで比較して見た場合、例題の説明がより丁寧で、内容も豊富になっています。一方で、「Challenge」という例題で難易度の高い問題もしっかり扱うとともに、参考問題や発展問題で余力のある生徒たちに対応できる内容にもなっています。また節末問題の「Training」は、新編よりやや難しめになっていますが、ここで本文内容の定着を進め、章末問題の「Level Up」では本文で扱わなかった難易度の高い問題に挑戦するような構成となっています。

次にコミュニケーション英語Ⅰは、啓林館の「ELEMENT」を選定いたしました。これまでは、第一学習社の「Perspective」を2年間続けて使用してきましたが、本校生徒には内容的にやや難しいのではないかという話が英語科教員の中で上がってきました。そこで、以前本校で使用した実績のある教科書の中で、啓林館の「ELEMENT」に行き着いた次第です。「ELEMENT」は、本文が見開き2ページで配置されていて見やすいなど構成面で優れ、以前使った際の生徒の理解度も良かったとの認識があります。レッスンごとの理解のまとめのほか、語彙、文法、演習も分かりやすく、本校生徒が力を付けていくにふさわしいと確認いたしました。

また、リスニング練習もレッスンごとについていることなどからも、総合的に英語の4技能を身に付けさせる上で、本校生徒に最適な教科書と判断いたしました。

他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

ありがとうございました。それでは、次に大宮北高等学校長から説明をお願いします。

大宮北高等学校  
長

お手元の資料の34ページから48ページまでが、本校の資料です。本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

選定方針でございますように、目指す学校像の実現のため、個々の能力を伸長し、確かな学力の定着が図れること、並びに生徒の興味・関心に即したもので、大学進学に対応できる効果的な内容となっていることを重視し、新規教科書を26冊、継続で18冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を48ページのように開催し、選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき、選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。

本校は御案内のとおり理数科、普通科を併置している学校でございます。平成26年度に理数科がスタートし、今年度1年生から3年生まで在籍する完成年度を迎えました。加えて、選定方針に「目指す学校像」、「SSH指定校として」とございますが、理数科設置校であること、念願のSSHの指定を受けたこと、この二つが本校の学校運営の大きな柱となっております。そのことを踏まえまして教科書につきましてもコアの教科、科目であります数学、理科については、理数科生並びにSSHの発展を支えるために、大変発展的な学習が教科書をもとに進められるよう、非常にバランスの取れた教科書を選定してお

ります。

もう一つ申し上げますと、本校の目指す学校像にありますように、SSHであること、理数科設置校であることをベースにして、本校では国際社会をリードする人材を育成することを目指しております。ついでには、文理関係なく英語の教育は大変重要になってくるということ、本校のICTの教育環境も非常に整っていることがございますので、この2点を具現化できる教科書ということで「PRO-VISION」という教科書を選定しています。この教科書は、ICTを活用しやすく、これから向こう3年で文科省がデジタル教科書をスタンダードにしていくという話もございますが、デジタル教材が非常に充実していてICTを活用した授業展開に適していること、それから発信型の構成になっていること、例えばグラフから情報を読み取ったり、日本語のみならず英語でもディスカッションすることができるなど、国際人として発信ができる生徒を育成する、そういったことを理由に選定しています。

他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

ありがとうございました。それでは、次に大宮西高等学校長から説明をお願いします。

大宮西高等学校  
長

資料1の49ページから62ページまでが本校の資料です。本校の教科書選定の経緯について、説明させていただきます。

選定方針にございますように、確かな学力の定着のために、導入や題材、論の工夫がなされていること及び生徒の興味・関心や考察力などの実態に十分対応したものであることを重視し、新規教科書を20冊、継続で22冊の教科書を選定いたしました。

教科書選定委員会を62ページのように開催し、選定委員会で選定方針を伝え、各教科からの原案に基づき選定理由の確認を行い、校長の責任の下、選定案の決裁をいたしました。しかしながら昨日の教育委員会会議におきまして、教科書採択に係る資料について御指摘を受けまして、急遽昨日持ち帰り改めて選定委員会を開催し、選定委員を選任し直し、改めて選定案を協議いたしました。さらに本日朝、再度選定委員会を開催し、最終的な確認をした上で、改めて校長の責任の下、選定案の決裁をしたところでございます。

具体的に御説明申し上げます。校長といたしましては、選定委員会で選定方針を伝えるとともに、選定理由が他の委員に分かるように、選定教科書に付箋を貼るよう指示しました。それを確認し、選定理由

を説明させ、決裁をしたところでございます。

本校は、市立高校の特色ある学校づくり計画の中で、グローバル化先進校としての取組を抱え、昨年度当初、私が校長として着任してすぐに、学校自己評価の中にグローバル化を明確に位置付けることとしました。そのグローバル化を進めるに当たり、例えば夏季休業中の生徒の短期海外研修の渡航費の補助金額のアップであるとか、入学者数を80人減じて240人として、30人の学級編制にするといったことを展開する中で、とりわけグローバル化に関連が高いと考えておりますコミュニケーション英語の授業につきましては、2クラス3展開、約20人の授業を展開しております。ここではそのコミュニケーション英語を例にとって御説明申し上げます。

コミュニケーション英語のⅠ、Ⅱ、Ⅲは、資料の59ページのとおりですが、説明の都合上、Ⅲから御説明申し上げます。これは現2年生、少人数学級編制の初年度生が来年度使用する教科書です。この新入生を迎えるに当たり、その前年度5月に本校が平成31年度から中等教育学校に改編されるという発表がございました。当時の大宮西高校の教職員はそのことで大きく動揺し、また、次年度の生徒募集に大きな不安を抱きました。今後数年間で大宮西高校としての歴史に幕を閉じることになる学校に志願する中学生はいるのかという不安を抱いた教職員は、少し教科書のレベルを易しめにしようと考えました。それが来年度3年生になる生徒たちが入学時から継続して使っている第一学習社の「Vivid」シリーズです。ところが先ほど申し上げましたとおり、少人数学級編制、海外研修への補助金額のアップなどが功を奏し、実際に入学した生徒のレベルは、それまでの大宮西高校のレベルを若干上回った成績で入学してきました。そのことに鑑みて、来年度2年生になる現1年生が使う教科書ですが、少し難易度を上げまして、三省堂の「MY WAY」を採択していただいたところです。現在、その1年生の授業を展開しているところですが、本校としては初めて少人数学級編制に加えて習熟度別授業を加えました。2クラス3展開のうち1クラスを比較的英語が得意な生徒の講座とし、そこは発展的な内容を積極的に盛り込みながら授業展開をしています。そのことを踏まえた一方で、来年度、本校としては最後の生徒募集になります。そこで、資料の下から三つ目、「Communication I」の教科書を選定したわけですが、果たして最後の学年にどういった生徒が志願してくるかというのはなかなか読み切れません。これまでの2年間は学力のしっかりした生徒が入っていますが、来年度入学の生徒には後輩が一人もおらず、どういった高校生活になるのかという不安を否めません。本校では学校説明会等でそういった不安の払拭に努めていますが、多くの質問をいただいております。そこで来年度採用する啓林館の「LANDMARK FIT

ENGLISH」は、選定理由の1にございますとおり、同一の内容について難易度を変えて2種類の教科書で制作しています。これは本校が選定した「LANDMARK FIT」と「FIT」の付かない2種類ということです。「FIT」の付かない方が難易度が高く、「FIT」を採択することになるのであれば、採択していない「FIT」の付かない方の教科書の内容を補助教材として使用して差し支えないと教科書会社からお返事をいただきました。そうすると先ほど申し上げた習熟度別授業の展開に大変即応しやすく、この2冊の教科書は全く同じ単元構成で難易度が違うだけですので、そういった点を注目してこの教科書を選定したところでございます。

他の教科につきましても、審議を重ね、校長決裁により、議案書のとおり提出させていただいたところです。採択に向けて御審議をお願いいたします。

大谷委員長

委員各位、御意見、御質問をお願いします。

稲葉委員

それでは、次の3点について改めて確認をさせていただきます。1点目は、今回選定の対象となった教科書に何らかの形で編集等にかかわっている教職員の方がいたか、いたら何名か、担当教科は何か。2点目は、該当の教職員がいる場合に、その方が選定委員会等の委員になったり、学校の選定案の作成に関わっていたりしたか。3点目は高校教育課に聞きますが、今述べた質問内容について、独自に調査し把握していたかについてお願いします。

浦和高等学校長

本校では、編集等に関わっている教員は4名おりました。教科は理科、数学、英語、家庭科各1名です。昨日改めて選定委員会を開催し、選定案について検討しました。その選定委員会のメンバーに編集等にかかわった教員は入っておりません。

浦和南高等学校  
長

本校では、教科書の編集等にかかわっている教員はおりません。

大宮北高等学校  
長

本校も本年度、教科書の編集等に関わっている教員はおりません。

大宮西高等学校  
長

本校は、家庭科の教員が1名、大修館の「家庭基礎」の教科書の執筆に関わっております。選定の過程にはその教員は含めておりません。

高校教育課長

調査し、把握していたかどうかでございまして、高等学校用教科書

目録に掲載されている全ての教科書の中から確認はしてございます。結果につきましては今校長から報告のあったとおりでございます。

稲葉委員                    それでは、関わった先生方の教科において、同一の教科書が選定されたかどうかを確認させてください。

浦和高等学校長            2冊あります。家庭基礎と化学基礎です。数学と英語は選定されておりません。

大宮西高等学校長        本校は、家庭科の教員が大修館の教科書の執筆に関わっておりますが、本校で選定したのは別会社の教科書です。

大谷委員長                選定委員にはなっていないけれども、当該高校において、執筆等に関わった教員の教科書が選定されている点についてはどう解釈すべきでしょうか。

稲葉委員                    選定案が妥当かどうかを本教育委員会会議で確認し、審議すべだと思えます。

大谷委員長                それでは、浦和高校の家庭基礎及び化学基礎については、教員が執筆等に関わった教科書が選定されているということなので、明確な説明を求めたいと思えます。

浦和高等学校長            昨日御指摘を受け、改めて選定委員会を開催し、検討をいたしました。まず、家庭科においてこの教育図書の教科書を選んだ理由ですが、専門的な知識、技術に関する記述のバランスがよく、また、非常に豊富であり、様々な学校に進学したい生徒のニーズに合致していること、また、コラム等も豊富でタイムリーな話題も多く載っていることが挙げられます。また、「考えてみよう」というテーマもあり、アクティブラーニングの題材も含まれています。昨日、家庭科が入試に関係しているという話もしましたが、これはいわゆる公募推薦や指定校推薦のレポートが該当します。具体的には横浜国立大学の都市科学部に出願する際のレポートだとか、奈良女子大学の生活環境学部の住環境学科に推薦で提出する文書にそういう知識が必要になってきます。あるいは東京学芸大学の教育学部の家庭専修で、これは2次試験ですが、ジェンダー、ワークライフバランス等の内容の論文を求められています。そういった内容について詳しく書かれているのは教育図書の教科書のみで、去年まで5年間使っていたものは難易度の面で対応できなかったという経験から、教育図書を選定しています。また、家庭

という教科は大学入試センター試験の科目としてはございませんが、タイムリーな例についてお話しすると、例えば海外の結婚事情についてもコラムで幅広く扱われております。結婚事情等については英語の教科書にも同じ内容が載っており、教科をまたいで理解が非常に深化するのではないかということをご昨日選定委員会で話しました。それから、近年の入試では、論文や面接で多岐にわたり詳細な知識を求められるテーマも多く、例えば、保育の分野でも、「幼児にとって言葉が持つ意味について」などの論文が出るそうです。これについてはやはり保育等について非常に詳しい知識が載っている教科書でないと対応できませんが、教育図書の教科書は他の教科書よりも詳細に説明が掲載されています。

大谷委員長

推薦入試について、浦和高校の実績はどうですか。要するに、ある程度実態を踏まえて、実情に応じて検討したいという気持ちがあるわけですか。

浦和高等学校長

奈良女子大、東京学芸大、横浜国立大学については推薦入試でここ数年で数名合格しております。家政分野の大学の推薦入試を考えている生徒は、毎年10名程度おります。

野上委員

生徒の気持ちを思えば今の時代工学系、文科系というのは実はないのではないかと思います。生徒の進学意図は多岐にわたっていて、新しいジャンルが次々と出てくる中では、今校長が説明したような生徒が増えてくるかもしれません。選択肢をあまり減らすと良くないので、選択肢の中の一つと考えればそういうメニューもありだと共感できる部分です。

大谷委員長

提案ですが、家庭科については、校長の今説明したポイントを実際の教科書を使い、委員各位に具体的にお見せいただくというのはどうでしょうか。

稲葉委員

賛成です。これは他の教科書との比較になってくると思います。また、コラムも確認しましたが、他の教科書に載っていないということもわかりました。しかし、例えば大学入試に必要なのはこういうところで、他の教科書ではこうなっていて、取り上げ方がどう違うのかという部分を何点か説明していただきたいと思います。化学についても同様です。

大谷委員長

それでは、具体的にお示しください。

浦和高等学校長

こちらが選定した教育図書の家家庭科の教科書です。時事問題等に関連したことといたしまして、例えば、子供の経済格差というコラムがグラフ付きで資料として示されておりますが、こういった詳しい資料は御覧のとおり他の教科書にはありません。それから、TPPと食料自給率についてコラムで取り上げられていますが、他の教科書には掲載されてございません。また、繊維について説明されている項目では、他の教科書と比べて種類も多く掲載され、詳細な説明がなされております。また、御覧のとおり、設問についても、他の教科書は解答が直接記載してありますが、この教科書では、生徒に考えさせながら答えを導き出すような記載がされているなどの工夫が見られます。

大谷委員長

化学はどうか。

浦和高等学校長

この化学基礎の教科書は、2年生の文系で使う教科書です。特徴として、平易で読みやすく、中学校における既習事項が明確に示されていますので、他の教科書よりも、復習を兼ねながら学習に取り組み、比較的理系科目を苦手とする生徒にとってはとても使いやすい教科書になっています。それから、これも非常にはっきり見て取れますが、章の最後の「まとめ」部分が見開きで、見やすい構成となっております。また、丁寧に章のまとめが記載されている教科書であり、このような教科書は他にはありません。2年生の文系で化学基礎を選択した生徒は、大学入試センター試験においてこの化学基礎を選択する生徒も多く、大学進学を希望する生徒の多い本校において、適した教科書だと考えられます。

大谷委員長

化学の教員は何名いるのですか

浦和高等学校長

3名います。なお、教科書編集に関わった教員は選定委員会に入っておりません。

大谷委員長

ありがとうございました。

話しは変わりますが、大宮西高校の説明で、教科書が二つという話がありましたが、負担等は大丈夫ですか。

大宮西高等学校長

2冊を購入するわけではなく、採択された場合、生徒が購入するのはあくまでも「Fit」の方だけで、一方を採択するとデジタルの教科書を教科書会社から両方ただけて、補助教材として使うこともできるということを教科書会社に確認しました。

大谷委員長 浦和南高校の数学 I ですが、必修である数学 I と数学 A で 6 時間というのはいくつか。英語も同様に 7 時間やっていますが。

浦和南高等学校長 低学年時においてベースをしっかりと定着させたいということですので。

大谷委員長 あと私が気になるのは、山川出版社の改訂版と旧版の問題です。大宮西高校は、山川出版社の改訂版を使わないのはどうしてなのでしょう。

大宮西高等学校長 通常改訂版が出る時は改訂版しかないわけですが、山川出版社の日本史と世界史だけは、1 年間継続して、改訂版が出て旧版を残して発行しています。当然両者を比較しました。もちろん歴史の教科書ですから、改訂版の方が現代史の最新の部分に追記がございます。しかし、改訂されたのはそこだけではなくて、例えば図表のレイアウトが違ったり、写真の位置が変わっているとか、なぜこういう変更をしたのかと気になる部分がありました。確かに、さらに追加されるべき現代史については、日々新たな事象が発生していますので、非常に直近の現代史については補助教材を使わざるを得ません。いずれにせよより使い勝手が良いだろうという観点から旧版を選定しました。しかし、1 年限りですので、次の年は改訂版となります。

大谷委員長 他の学校はみな改訂版を使っている、大宮西だけ旧版を使っているのは生徒のためなのでしょう。改訂版は内容が悪いのですか。

大宮西高等学校長 不都合というほどではありません。現行発行されている教科書の中で比較検討した結果です。これについては、山川出版社の方を呼んで、両者の違いを説明してもらいました。改訂版のメリットが大きいことも理解しておりますが、直近の現代史はいずれにせよ補助教材を活用しますので、そこより図表のレイアウトやイラストが生徒にとってわかりやすくなっているという視点を優先した次第です。

武田委員 小学校、中学校の教科書では各会社が出している趣意書というのがあるので、高校もあると思うのですが、それに対してある種の反論が言えればそうなのかなということになるかと思えます。

大宮西高等学校長 あいにく本日は趣意書を持参しておりません。

大谷委員長                    統計データが古いことは決定的なダメージになるかと思いますが、  
どうでしょうか。

大宮西高等学校  
長                                ごもつともですが、今回の改訂は間の年数が3年ないし4年で、最  
新のデータであってもその程度であり、教科書の執筆が終わり編集す  
るというタイムラグもありますから、最新の情報を生徒に提供すると  
すれば補助教材を使わざるを得ないと考えております。

武田委員                      大学のことなので少し当てはまらないかもしれませんが、今英語の  
論文はMLAの書式で書くことになっており、第6版から第7版にな  
って煩雑となり、実際これで書くのは大変だということで、第8版で  
は第6版の状態に戻ったということがありました。使い勝手というこ  
とでそういう面もありますので、実際に教えている先生の使い勝手を  
尊重するというのであれば、そういう選択も可能だと思います。単  
に労を嫌ったわけではなく、教えやすく、生徒の実態に合っている  
ということをきちんと言えればよいと思います。

平澤委員                      先ほど実際の教科書を見せていただき、確かに前の方がわかりやす  
いという気はしました。わかりにくい部分について見やすい補助教材  
を使うよりは、最新の部分だけ補助教材を使うほうがよりシンプルで  
教えやすいでしょうし、生徒の皆さんもわかりやすい気がしました。  
新しいものが出たとしても、精査してあえて古いものというのも一つ  
の選択肢かと思えます。

浦和南高等学校  
長                                統計データの年数のことを申し上げますと、改訂版では世界史で一  
番新しいグラフデータは2010年ぐらいまでで、日本史では例えば  
409ページでは、2005年のデータグラフまでしか出ておりませ  
ん。これは旧版も同じデータを載せていますから、要するに改訂版も  
さほど直近のデータを載せているわけではないようです。

大谷委員長                      例えば222ページを開けると、一揆と打ちこわしがあり、百姓一  
揆の推移がありますが、改訂版は誰の文章かというのが書いてありま  
す。旧版はただタイトルしか載せていません。全ての図表に共通して  
います。それはやはり改訂版たるゆえんかと思えます。

大宮北高等学校  
長                                改訂箇所が詳細であることが生徒の理解を促進することにつなが  
るとすれば、教科書を選ぶ際のポイントになると思います。ただ、  
3校は新しいものを選びましたが、大宮西高校はそれ以外の効果を目

の前の生徒たちに生かせると認識したためかなと思っております。

大谷委員長

判断主体は教育委員会ですから、大宮西高の生徒は旧版が適し、3校は改訂版が生徒や教師にとって最適だという判断をしたことになります。その判断について、教育委員会としての一貫性や明確な根拠を、対外的に説明できるでしょうか。

武田委員

そこがやはり小・中学校までの採択の仕方と高校の採択の仕方が違うということで、小・中学校までとは違って、入学の時点である程度振り分けがあるわけで、各校の実情に合わせたものを認めるというのはいいのではないのでしょうか。先生方からお話があったとおり、一長一短があるので、どれを選ぶのかは実情によって変わってくると思います。学校で御判断されたのであれば、それぞれの学校でメリット、デメリットの根拠や正当性はあるのではないかと思います。

稲葉委員

今回は、改訂版と旧版があって、旧版ももちろん候補の教科書に載っているわけで、高校独自の選択ということもあると思います。一律に揃えるという考えですと、他の教科もそのように考えなくてはならなくなると思います。

大谷委員長

それでは、議論も尽くしましたので委員の皆様にお諮りします。本日の審議をしてきました教科用図書採択について、原案のとおり採択してよろしいですか。

各委員

<異議なし>

大谷委員長

出席委員全員の賛成により、議案第58号は原案のとおり可決されました。

8 閉 会 午後0時17分